

放送ライブラリー公開番組＜アフリカ関連ドキュメンタリー・教育教養番組＞

※8階視聴フロアで視聴できます

＜テレビ番組＞			
番組ID	タイトル	放送局	内容
000193	特集 アフリカ大陸を行く・総集編	NHK 60分 1960/3/27	17の国が独立し「アフリカの年」といわれた1960年に、アフリカ22カ国を訪問したシリーズの総集編。エジプト、エチオピア、ケニア、南アフリカ連邦、ベルギー領コンゴ、カメルーン、ガボン、ナイジェリア、ガーナ、モロッコ、アルジェリアを紹介する。
000766	NHK特派員報告 ナイジェリアの悲劇 ～内戦の現状とビアフラ～	NHK 33分 1969/4/15	ナイジェリアでは激しい内戦が行われ、連邦政府と独立を宣言したビアフラ共和国の戦闘が続いている。連邦軍の最前線の様子、ゴウォン首相との会見。また、ビアフラ側の臨時首都ウムアビアの表情、エジネヒテの難民収容所の飢餓の実情などを伝え、アフリカの苦悩を訴える。
013788	すばらしい世界旅行(総集編) 森の狩人ピグミー	日本テレビ 52分 1972/10/8	ザイール東北部に住む勇敢な狩人ハンディブツ族(ピグミー)と80日間を共にした記録。伝統的な象狩りの様子など、大自然と調和して生きる一族の姿を描く。
013780	すばらしい世界旅行(総集編) アジアからアフリカへ マダガスカル人移住のナゾ	日本テレビ 52分 1972/10/22	マダガスカル島民は、東南アジアからの移民であるという。1万キロのインド洋に隔てられたインドネシア、フィリピン等の島々とマダガスカル島の文化的同一性を、祖先崇拜の祭りなどに追う。
013186	ナブ号の世界動物探検 隊長とゴリラの一家	日本テレビ 25分 1973/2/18	カメルーンとコンゴの国境地帯に広がる広大なエクエトリアルの森に住む、銀白色に輝く背中のおスを中心としたゴリラの家族の生態、また子供たちの愉快なしくさなどを紹介する。
013766	すばらしい世界旅行 熱風サハラ砂漠(前編) —ラクダ遊牧民と150日—	日本テレビ 26分 1973/7/29	180日間でサハラ砂漠2万キロを走破し人々の生活取材した。ニジェールのアイール山地に住むトアレグ族の集落では、ラクダを連れて南下した男達の留守を守り、女と子どもが羊や山羊の世話をする。動物市場でラクダを売り、家路に着くキャラバンの実態も記録する。
001033	驚異の世界 これがアフリカ象だ！ 傷つき象 救急作戦	日本テレビ 24分 1973/10/4	象牙は昔から高価だったが、最近の更なる値上げに伴い密猟者が増加、殺されたり弾や毒矢に傷つくゾウも増えた。ケニアのツアボ国立公園で、密猟者に傷つけられたゾウの一角を手術し、回復していく過程を伝える。
013789	すばらしい世界旅行(総集編) ジャングルの神々 ガボンの秘密結社	日本テレビ 52分 1974/1/27	赤道直下のガボンの密林地帯に住む人々は先祖霊を象った仮面の儀式を持ち、成人式などを経て認められた者だけが参加できる秘密結社がある。ミソゴ族の村で生活を共にし、成人式を受けて彼らの日常生活における数々の仮面の秘儀を記録した。
013767	すばらしい世界旅行 飢えるサハラ砂漠(後編)	日本テレビ 26分 1974/12/15	1967年以来サハラは年々降水量が減り、砂漠は南へ拡大していった。遊牧民は水が枯れたため次々と家畜を失い、飢餓にさらされてきた。周辺部の定着農耕民族たちも、南進する砂漠の猛威に為す術はなかった。被害の最もひどかったニジェールを訪れ、砂漠民と生活を共にしながら生活の全てを記録した。
013097	すばらしい世界旅行 大サバンナの殺し屋 熱気球アフリカをゆく〔1〕	日本テレビ 26分 1975/5/4	タンザニア・セレンゲティ国立公園は世界で最も動物の多い所である。そこは、地上最後の野生の楽園であり、多くの草食獣、肉食獣が、思い思いの生活を謳歌している。百万頭を越すワイルドビースト(ウシカモシカ)の大移動と、彼らを追う肉食獣たちの生態を追い続ける若き動物学者夫婦を描く。
001190	木曜スペシャル 神秘！アフリカ象の生と死の謎 三年間の全記録	日本テレビ 74分 1975/9/11	ケニアの大草原を舞台に、滅びゆくアフリカゾウの誕生から死までを約3年がかりで克明に捉えた。1頭のゾウを追い続け、妊娠期間中の生態から出産、死に至るまでをフィルムに収めたのは世界初だ。
013790	すばらしい世界旅行(総集編) 砂漠の狩人 ブッシュマン	日本テレビ 52分 1976/10/10	地上最後の狩猟民となったサン族(ブッシュマン)の生活と文化を10年間にわたって記録。狩人たちはカブトムシの幼虫から毒矢を作り、キリンなどの獲物を狩る。そんな彼らの狩猟に、馬が登場するようになった。馬によって変化した彼らの狩猟、そして社会を記録した。
013101	すばらしい世界旅行 10周年記念 山ゴリラの恐怖 31頭カメラマンを襲う	日本テレビ 26分 1976/12/12	ザイール共和国東部のカフジ・ビエガ国立公園では、マウンテンゴリラの人付けが行われている。人付けにおいては、まずボスゴリラに仲間として認知される必要がある。そうすれば、ゴリラの家族も人を恐れなくなり、攻撃したりすることはない。しかし、突然、ボスゴリラがスタッフに襲いかかった。
013102	すばらしい世界旅行 10周年記念 山ゴリラの謎 離れゴリラ9頭をさらう	日本テレビ 26分 1976/12/19	ザイール東部のカフジ・ビエガ国立公園には300頭以上、20家族以上のマウンテンゴリラが生息している。取材班は、若いボスゴリラ・マヘシエ率いる9頭のグループを追跡した。ところがある日離れゴリラの一群と出会い、マヘシエは家族全員を奪われてしまう。

放送ライブラリー公開番組＜アフリカ関連ドキュメンタリー・教育教養番組＞

※8階視聴フロアで視聴できます

番組ID	タイトル	放送局	内容
013785	すばらしい世界旅行(総集編) 幻のナイル源流 ヌバ・ヌエル族	日本テレビ 52分 1977/5/15	アフリカの母なる河ナイル。取材班はヴィクトリア湖を源に持つ白ナイルを遡行、スーダン南部をエチオピア国境近くまで踏み入った。流域に住むヌバ族は大自然の試練を生き抜くため生活の知恵を働かせている。モロコシの収穫が終わると行われる、木刀による激しい大合戦もその一つだ。
013160	知られざる世界 霧を食べても生きる！ ナミブ砂漠の生物たち	日本テレビ 26分 1977/5/29	アフリカ南部、大西洋に面し南北150キロに広がる灼熱のナミブ砂漠。大西洋に発生した霧が風に運ばれ砂漠を覆うと、甲虫は逆立ちをして自分の体に付着した水滴を食べていることが分かった。カメレオンやサソリは、この甲虫を餌食にして水をを得るのだ。
001463	驚異の世界 密猟！アフリカ象救援作戦〔前編〕	日本テレビ 24分 1978/1/5	アフリカゾウが密猟で激減している。ケニア・ツアボ国立公園での密猟の実態を探り、ゾウやサイを絶滅から救うため日夜努力を続けている動物保護官の姿を追う。四国とほぼ同じ面積があるこの公園で、ライオンにさえ狙えないというゾウが傷つき死んでいく、その傷口からは密猟者の毒矢が出てくる。
004251	驚異の世界 密猟！アフリカ象救援作戦〔後編〕	日本テレビ 23分 1978/1/12	国立公園のレンジャーたちは、後足に怪我をしたゾウを見つけ手術を行った。密猟者の行動パターンを読んで作戦を練り、ついに捕らえる。そして5日前に毒矢を撃ち込まれたゾウのことを聞き出して捜索するが、見つけたときにはすでに手遅れになっていた。
001464	木曜スペシャル 百獣の王エバと仔ライオンの物語 —野性の母ライオン追跡516日の記録—	日本テレビ 74分 1978/2/2	「百獣の王」として親しまれているライオンも、野生の生態は知られていないことも多い。ケニアのアンポセリ国立公園のライオンの雄、雌各一頭に無線発信機つき首輪をとりつけ彼らを追跡する。野生ライオンの狩り、交尾、出産、子育てとその生態をつぶさに記録し、人間と動物たちの関わり合いを考える。
001454	NHK特集 サダト大統領そのエジプト '78年2月・3月	NHK 49分 1978/3/30	中東紛争解決のため対イスラエル和平交渉にふみ切ったサダト大統領に単独インタビューし、その思考と行動を紹介。同時に、今日のエジプトの息吹を伝える。
013111	すばらしい世界旅行 肉食獣の一生 誕生からエモノを襲うまで	日本テレビ 26分 1978/10/1	食物連鎖の頂点に立つ肉食獣のライオンやリカオンたち。しかしその誕生は他の動物同様、やさしい母の愛情に始まる。東アフリカの平原で殺しのプロフェッショナルになるまでを追う。
013112	すばらしい世界旅行 肉食獣の一生 王者大地にかえる	日本テレビ 26分 1978/10/15	アフリカのサバンナの乾期は、草食動物だけでなく肉食動物にも弱肉強食の絶対性を与える。飢えと渴きと激流と闘い、生き残った者だけが再び緑の草原に足をふみ入れられるのである。
013116	すばらしい世界旅行 肉食獣との闘い ヌー100万頭の大移動	日本テレビ 26分 1979/11/18	タンザニアのセレンゲティ国立公園にはヌー60万頭がいるが、乾期には水と新鮮な草を求めて大移動する。半年がかりでヌーの移動を追った記録を紹介。前編は、弱者が減る厳しい自然淘汰を生々しく見せる。ヌーの母親は自分の子にしか乳を与えない。弱いものはハイエナなどの肉食獣の餌食となっていく。
013117	すばらしい世界旅行 決死！湖をわたる ヌー100万頭の大移動	日本テレビ 26分 1979/11/18	アフリカの大草原の雨期—それは100万頭のヌーやシマウマに、恵みと試練の両者を与える。深い川を泳ぎ渡るヌーたちは、多くの犠牲を出しながらも全力でその大移動を乗り越えてゆく。
013786	すばらしい世界旅行(総集編) 幻のナイル源流 アムハラ・ガラ族	日本テレビ 52分 1980/7/6	青ナイル流域に住むアムハラ族には早婚の風習がある。7歳の少女が14歳の少年と結婚することになった。嫁ぐ日、月が昇る頃、花嫁は迎えに来た花婿の叔父に背負われて家を出た。新居は花婿の家の母屋の別棟であり、しきたりでは結婚後90日間は家から出られない。
013787	すばらしい世界旅行(総集編) 幻のナイル源流 テソ・カラモジョン族	日本テレビ 52分 1980/7/20	ヴィクトリア湖とその下流200キロのキョガ湖を結ぶ白ナイル流域に、テソ族が住む。テソ族の病気の治療はシャーマニズムで、呪術師によって行われる。呪術師は、ドラムとマラカスの楽団と共に、病人たちを踊らせる。ドラムの激しい高まりと共に、病人たちを恍惚の世界に引きずりこんでいく。
013168	知られざる世界 ヒトの祖先と暮らす 幻のピグミーチンパンジー〔1〕	日本テレビ 26分 1982/6/6	アフリカ大陸の中央部、赤道直下の原生林に棲む「ピグミーチンパンジー(ポノボ)」は、類人猿の中で最も人類の祖先に近い存在と考えられている。彼らに関する学術調査の様相を記録した。
013169	知られざる世界 ヒトに似た性行動 幻のピグミーチンパンジー〔2〕	日本テレビ 26分 1982/6/13	ピグミーチンパンジー(ポノボ)の生態報告。彼らの性行動にスポットを当て、それが彼らの社会生活においてどのような役割を果たしているのかを探る。

放送ライブラリー公開番組＜アフリカ関連ドキュメンタリー・教育教養番組＞

※8階視聴フロアで視聴できます

番組ID	タイトル	放送局	内容
002659	木曜スペシャル ピラミッド 謎と秘密とミステリー	日本テレビ 74分 1982/12/2	エジプト人とピラミッドとの関わりを、歴史的背景を元に追う。ピラミッドには今も数々の謎や秘密が隠されている。誰が、いつ、どうやって、何のためにこの巨大な建築物を作ったのだろうか。クフ王の大ピラミッドがつくられた裏には、どんな力が潜んでいたのだろうか。
013127	すばらしい世界旅行 大トカゲ サハラの忍者 生きている砂漠	日本テレビ 26分 1983/2/13	暑く乾き、死の世界のようなサハラ砂漠。しかしこの砂漠に適応して生き抜く生物がいる。植物を食べて繁殖するネズミは肉食動物の栄養源であり、水分補給の源でもある。同様に、早朝の露を受けて動き出すサバクカタツムリをアリが襲い、そのアリをトカゲが食べる。水と栄養が食物連鎖で分かち合われている。
013128	すばらしい世界旅行 シロアリ 死のハネムーン 野生王国のナゾ	日本テレビ 26分 1983/5/29	赤道直下に位置するケニア北西部バリンゴ地方。乾いた赤い大地には、高さ2～6メートルにも及ぶ巨大な白アリ塚が点在している。40度を越す熱風にさらされコンクリートのように固まったこの粘土の城の住民はオオキノコシロアリである。1年に1回、2、3時間の間だけ繰り広げられるシロアリの結婚飛行を記録した。
002707	木曜スペシャル ぼく達アフリカふんムシ族 ある昆虫の一代記	日本テレビ 74分 1984/1/19	砂漠に生きる小さな昆虫の一生を通じて、大自然のリサイクルを描く。「フンころがし」はコガネムシ科の昆虫で、アフリカだけでも2000種近くが観察される。「スカラベ」とよばれる種類は、動物のフンを丸めて後足でころがし、地中にうめてそのフンを食べ、そのフンの中に卵を産む。卵は、そのフンを栄養分として育つ。
003007	NHK特集 ゴリラ！ 滅びゆく森の巨人	NHK 50分 1984/6/30	マウンテンゴリラが人間によって追い詰められている現実と、その中でユーモラスな生活を送る彼らの姿を伝える。アフリカ中央、赤道直下の山岳地帯に、体重200キロを超える地上最大の類人猿マウンテンゴリラの生息地がある。その数わずか400頭。保護が強く叫ばれているパンダの半分にも満たない。
003156	限りなき飛翔 兼高かおる25年の軌跡	TBS 46分 1985/1/3	「兼高かおる世界の旅」25周年に、各国に詳しいゲストを迎えてのトークと、これまでの貴重な映像を用いて思い出の名場面などのハイライトを兼高かおるが厳選、再編集して番組の推移を捉える。「変わりゆく世界」として、1963年ごろのザンジバル、カメルーンなどをモノクロフィルムで送る。
003756	テンベア 神の足を持った男	北日本放送 50分 1985/10/20	病に冒された音楽愛好家のアフリカの放浪の旅を通して、生きることの意味を問う。ジャズ喫茶を経営する榊原吉明さん。かつてベース奏者として活躍した彼は、原因不明の難病「パージャー病」に冒され、両手の指先8本と両膝から下を失った。40歳を迎えた彼は、自分自身の生き方を貫くために日本を出る決意をした。
005256	世界ふしぎ発見！〔1〕 古代エジプト 黄金に輝くファラオの秘密	TBS 48分 1986/4/19	興味尽きせぬ古代史の謎・エジプト文明がテーマ。ナイル川の肥沃な土壌に育まれた黄金の王国の遺跡、王の副葬品の数々のほか、当時の女性のメーキャップ法やパピルス紙作りなどを紹介。有名なツタンカーメン王の黄金のマスクの価格などを問う。ミステリーハンターは黒田福美。
013138	すばらしい世界旅行 放送20周年記念年間 わが一族は名ハンター ライオン追跡60日	日本テレビ 26分 1986/6/22	南部アフリカのクルーガー国立公園で60日間、野生ライオンを追った。夜、ヌーの死体をむさぼるライオンの群れ。群れから離れ愛を交わす雄と雌。王者にふさわしい歓喜の雄たけびをあげる雄。生後1ヶ月の丸々と太った乳のみ児。父母に甘える姿はぬいぐるみのようにかわいい。
002388	NHK特集 南アフリカで今何が起きているか	NHK 45分 1986/7/14	アパルトヘイトが非難の対象となっている南アフリカ。大多数の黒人を除外してインド系、混血系と白人だけの議会を作ってから暴動が激化し、黒人同士の殺し合いに発展している。黒人居住区には150万の黒人が白人から完全に隔離された生活を送っている。また白人側も右翼と進歩派の亀裂が深くなっている。
005795	NNNDキュメント'86 “名誉白人”に問う 南アフリカ・ツツ主教は訴える	日本テレビ 25分 1986/10/13	1986年8月、反アパルトヘイト運動家ツツ主教が来日した。南アの繁栄は豊富な地下資源と人口の15パーセントの白人を優遇する政策に支えられている。国連の経済制裁に日本も同調したが、鉄鉱石等の輸入は禁止されず、南アは貿易相手国として重視した日本人に“名誉白人”の称号を与えた。
003026	パリダカールラリー'87 ～世界最大の自動車レース～	NHK 50分 1987/2/8	パリから地中海を渡り、サハラ、テネレの二つの砂漠を越えて、アフリカ西海岸セネガルの首都ダカールまで1万3000キロを走破する世界最大の自動車レース。番組は、スーパースター・アリパネタンとその首位争い、日本選手として初めて3位に食い込んだ篠塚健次郎の活躍を中心に構成。
003246	NHK特集 地球大紀行〔2〕 引き裂かれる大地	NHK 51分 1987/2/22	煮えたぎる火球として生まれた地球。いまは冷えたとはいえそれは表面だけのことで、内部はまだ膨大な熱を持っている。第2回はアイスランドの火山とアフリカ大地溝帯を訪ね、地球が熱を放出しようとして大地を動かし、引き裂くさまを紹介する。
003778	NHK特集 さようならキキ ぼくとキキのアフリカ・サファリ	NHK 76分 1987/3/23	ケニアで野生動物保護にあたる神戸俊平の体験を基にしたドキュメンタリードラマ。アフリカを旅していた俊平は、密猟者に親を殺されたチンパンジーの子と出会う。治療がきっかけでなついてしまったこの“キキ”と共に、俊平は動物孤児院のあるナイロビへの旅を続けることになる。

放送ライブラリー公開番組＜アフリカ関連ドキュメンタリー・教育教養番組＞

※8階視聴フロアで視聴できます

番組ID	タイトル	放送局	内容
003185	土曜スペシャル 大ピラミッドの謎 秘密の部屋に迫る	テレビ東京 72分 1987/3/28	クフ王の大ピラミッドの内部を早稲田大学古代エジプト調査隊が探索。最新機器が未知の通路発見に成功、世界を驚かせた。これは「女王の間」に通じる通路で、これにより「王の間」が存在する可能性が高まった。またピラミッド南側では金属探知器によりファラオが冥界に旅する「太陽の船」の存在も確認された。
009110	ネイチャリングスペシャル サハラ縦断幻想行	テレビ朝日 117分 1987/5/4	女優の桃井かおりがサハラ砂漠1万キロ、50日間の過酷な縦断旅を体験レポート。アルジェリアのアトラス山脈を越え、グランドコルグの大砂丘を踏破し、ニジェール、マリへと旅する。
003253	NHK特集 地球大紀行[9] 移動する大砂漠	NHK 50分 1987/9/27	砂漠が全大陸に占める割合は1/3。風や極地の氷が砂漠に影響し位置や形も変わっていくという。地球最大の砂漠・サハラにあるタッシリ・ナジェールには、牛馬が遊ぶ沃野が描かれている。地中海沿岸からサハラに吹く風ハルマッタンに沿って砂漠を紀行しながら、地球の大気循環のメカニズムに迫る。
003230	NHK特集 海のシルクロード[2] ナイル・熱砂の海道	NHK 50分 1988/5/29	ローマから紅海、インド洋を経て中国へと到る“海のシルクロード”。宗教・文化の伝播に大きな役割を果たした航路をたどる(全12回)。第2回はローマから地中海、紅海へ至る。スエズ運河開通以前はナイル河が紅海と地中海を結んでいた。陸路ナイルまで運んだ荷は三角帆の帆船ファルーカで川を上下した。
008588	日曜特集・新世界紀行 世界最長の大河 ナイル大紀行1 悠久5000年いのちの河を行く	TBS 73分 1989/2/19	アフリカの命の河、6690キロに及ぶナイル川の恵みを受けて生きる様々な民族の生活、文化、歴史を紹介しながら、ナイルの源流に迫る。(全3回)第1回は、カイロを出発し、ヌビア砂漠を越えるとそこはスーダン。最近まで裸で生活していたヌバ族の現在を紹介する。
008589	日曜特集・新世界紀行 世界最長の大河 ナイル大紀行2	TBS 47分 1989/2/26	第2回はナイル中流、アフリカの最深部で原始の暮らしをする部族、野生動物を紹介しながらナイル中流、アフリカ最深部へ向かう。高温、湿気、病原菌、風土病が発生する地上最悪の土地、サッド大湿原が広がる。ここで暮らすマンダレー族の素朴な生活をレポートする。
008590	日曜特集・新世界紀行 世界最長の大河 ナイル大紀行3	TBS 47分 1989/3/5	第3回は赤道直下を抜けて、氷河の雫、ナイルの一滴に迫る。
004070	NHKスペシャル アフリカ・ウォッチ[1] ケニア・マサイマラから生中継 野生天国は今	NHK 46分 1989/9/27	野生動物の楽園、ケニア・マサイマラ国立公園から世界初の生中継。9月は乾期であり、さまざまな動物の活動が活発になる。数多くの大型動物の野生のドラマを伝える(全2部)。第1部は、群れをなして暮らす大型のウシの仲間・ヌーの大移動を中心に紹介する。
004071	NHKスペシャル アフリカ・ウォッチ[2] ケニア・マサイマラから生中継 野生天国は今	NHK 56分 1989/9/27	第2部はサバンナの動物たちを紹介する。
007274	日曜特集・新世界紀行 新選 世界七不思議の旅[1] 天地創造の大地をゆく	TBS 47分 1989/12/3	ジブチからモザンビークに至る、南北6000キロに地球の割れ目が走るアフリカ大地溝帯。今も年に数センチずつ大地が引き裂かれ、熱水が吹き上がる風景は太古の地球そのまま。350万年前の人の足跡は、直立歩行の第一歩である。人類誕生の物語がアフリカ大地溝帯の中に刻み込まれている。
007280	日曜特集・新世界紀行 新選 世界七不思議の旅[7・終] 海よりの不思議な使者イルカ	TBS 47分 1990/1/21	他の動物に比べ遥かに人間に近い脳を持つイルカは、人間と語り始めている。ハワイ大学ではその可能性を現実にする実験が行われている。一方モリタニアの海岸では、もう700年来人間とイルカが協力して漁をしている。船を持たない浜の漁師は海をたたくてイルカに知らせ、ボラを浜に追い込んでもらうのだ。
005051	地球ファミリー 疾走！チーター親子の狩りを見た (岩合光昭の世界)	NHK 45分 1990/10/15	写真家・岩合光昭さんがタンザニアのセレンゲティ国立公園に1年間住みチーターを追う。子供のエサを獲るのは母親の仕事。70センチ近い尾を左右に振って細かくステップを踏み、8メートルに及ぶ歩幅で疾走する姿はまさにスプリンターだ。そんなチーターでも狩りに成功するのは5回に1回と言われている。
004235	密林の巨人 ゴリラ ～コンゴ・ンドキの森の記録～	関西テレビ 65分 1991/2/24	コンゴ人民共和国の密林に調査に入る京都大学霊長類研究所の調査隊に同行、絶滅の危機にあるローランドゴリラをキャッチしてその生態を追う。
013195	牛山純一と仲間たち 世界の民族紀行 類人猿を追って[1] ゴリラとダイアン・フォッシー(前・後編)	NHK衛星第1 60分 1991/8/1	映像ドキュメンタリスト牛山純一の取材活動を紹介する。1979年12月、牛山はルワンダの北部山岳地帯で野生のマウンテンゴリラの生態を追った。マウンテンゴリラはアフリカ中央部の山岳ジャングル地帯にごくわずかししか生息していない。1回目はゴリラの珍しい生態や米人女性動物学者の姿を紹介する。

放送ライブラリー公開番組＜アフリカ関連ドキュメンタリー・教育教養番組＞

※8階視聴フロアで視聴できます

番組ID	タイトル	放送局	内容
013196	牛山純一と仲間たち 世界の民族紀行 類人猿を追って〔2〕 ゴリラの群れと暮らす(前・後編)	NHK衛星第1 60分 1991/8/2	1982年、ルワンダの火山国立公園で記録した14頭からなる野生ゴリラの群れを中心に、牛山純一の取材活動を紹介する。牛山たちは1966年から15年にわたり、世界最大の類人猿・ゴリラを追い続けてきた。1980年に入り、ついに野生の群れと接触、その生活を記録することに成功した。
002963	新ビーグル号探検記〔9〕 眠っていた予言・マダガスカル	毎日放送 55分 1991/12/11	ダーウインの進化論の元となったビーグル号の航海を追体験する(全11回)。大陸と分かれ独自の進化を辿ったマダガスカル。長い蜜腺をもつランを見た彼は、この蜜を吸う30センチの口先を持つガの存在を予言した。40年後にその予言は的中。今回、昆虫写真家の今森光彦さんが世界で初めて撮影に成功した。
002964	新ビーグル号探検記〔10〕 風の贈りものナミブ・カラハリ砂漠	毎日放送 55分 1991/12/18	ナミブ、カラハリ両砂漠に生きる動植物や人々の生活を紹介します。昼夜の温度差40度、年間降雨量20ミリというナミブ砂漠に生きる植物ウェルウィッチアは、露に含まれる僅かな水分で数千年を生きぬく。カラハリ砂漠に暮らす人たちの、物を持たず、明日の心配をしない暮らしからは、文明とは何かを考えさせられる。
006263	NHKスペシャル 海と川の狩人たち〔2〕 サバンナの移動漁民 アフリカ・ニジェール川／ 人間は何を食べてきたか	NHK 60分 1992/1/21	海と川の恵みを食してきた人間の英知を探る(全4回)。第2回はニジェール川に沿って千キロも移動しながら漁をするボゾ族。雨期の後半、広大な湿原となる三角州を離れ半年にわたって川を移動しながら漁をする。イネと魚という食文化、独特の漁法や舟作りの技術、流域の異民族との共生の術などを描く。
004514	月曜特集 野生チンパンジーの知られざる生態 タンザニア・3年間の全記録	テレビ東京 71分 1992/3/23	マハレ国立公園の野生チンパンジーの群れを追いながら、チンパンジー社会の謎と人間とのかかわりについて考える。オスたちの激しい政権闘争や子育ての様子を伝える。
005893	密林の巨人ゴリラ コンゴ・ンドキの森の記録Ⅱ	関西テレビ 65分 1993/2/28	コンゴの密林で絶滅の危機にあるローランドゴリラの生態調査を続ける調査隊に同行する。首都ブラザビルから北へ850キロ、サンガ川を100キロさかのぼる。熱帯林はこの10年で17パーセントも減ってしまったという。ンドキの森だけが頼みの綱だが、広大な森にわずか4万頭しか残っていない。
007514	NHKスペシャル 誰が世界を守るのか〔2〕 翻弄される国家モザンビーク	NHK 49分 1993/4/9	アフリカの中で最も遅くまで植民地だったモザンビークは、独立戦争、内戦と長い戦いを続けてきた。百万人が死に五百万人が難民となる中で多くの子供が誘拐され、ゲリラや売春婦に仕立て上げられた。ルイーザさんは、政府軍に連れ去られて破壊工作員にされ、両足を失った。
005895	オカバンゴ大湿原 アフリカ・命と水の大地	関西テレビ 65分 1993/6/26	カラハリの宝石と呼ばれるオカバンゴデルタの乾期と雨期の全く異なる表情を紹介する。ボツワナ共和国・オカバンゴ湿原はカラハリ砂漠の北にある内陸性湿原。北から飛来した無数のフラミンゴなどの野生動物や、アフリカ最古の民族であるサン族の子孫たちの自給自足の生活を紹介します。
007530	祈りの大地〔2〕 民族の心を歌にして アルジェリア・カビール族	NHK 46分 1993/9/28	アルジェリアの山岳地帯に住むカビール族。文字を持たず口頭の伝承や歌で民族の思いを伝えてきた。しかし学校教育ではカビール語は使用を認められていない。異民族の侵略や征服の歴史、アラビア同化政策が続く中で、日常の歌、詩人の歌で伝統文化を継承してきたカビール族の現状や生活を描く。
007106	人間は何を食べてきたか〔4〕 雑穀 サバンナの最後の贈りもの	NHK 45分 1994/1/6	食べ物がいかに民族の精神を作り、文明の質を決定してきたかを明らかにする(全4回)。乾季には全ての草が枯れるサバンナ。ここに起源を持つイネ科植物は種子が小さく動物の餌にはならない。様々なイネ科植物を食物に変えてきたトーゴのランバ族を中心に、7000年にわたる穀農文化に人間と食の原点を探る。
006711	よみがえる森の巨人 コンゴ・孤児ゴリラ保護センターの記録	関西テレビ 64分 1995/2/26	アフリカの熱帯雨林にゴリラを追うドキュメンタリー第3弾。今回はコンゴのゴリラ孤児保護センターに保護されているゴリラの孤児を森に帰し、野生化を試みる世界初のプロジェクトを密着取材する。
013817	テレビドキュメンタリー 牛山純一の世界〔4〕 カラハリ砂漠殺人事件 ブッシュの英雄はなぜ死んだのか？	NHK衛星第2 91分 1995/6/8	半世紀に渡り世界各地を取材してきた牛山純一の演出で異文化、民族の心を問う。牛山は1976年にカラハリ砂漠に住むジェワ族の村に長期滞在し、伝統的な生活を体験した。当時の人々との再会を軸に、変わってしまった砂漠やブッシュの英雄たちの生活と20世紀の民族文化の変容を浮き彫りにする。
007134	戦場の中の子供たち 終戦50年特別企画	日本テレビ 99分 1995/8/1	戦争の傷も生々しいモザンビークやスーダン、ルワンダを、子供たちに焦点を当てて取材。弱者が傷つくだけの戦争の無意味さを訴える。世界には戦火が絶えることなく、その傷痕の癒えない地域が数多くある。百万人近くが暮らすルワンダの難民キャンプを大仁田厚が訪れる。
008991	NHKスペシャル アフリカ・ザイール 謎の類人猿ボノボ	NHK 50分 1996/1/7	最も人類に近いと言われる類人猿ボノボの生態と、ヒトに「心」が生まれた背景を探る。ボノボが住む熱帯雨林はザイール川によって隔離された結果、豊かな食料と平和な環境がもたらされた。ボノボには食べ物を独占せず残しておいたり、「両手」に持って二足歩行し仲間に運んだりする行動が見られる。

放送ライブラリー公開番組＜アフリカ関連ドキュメンタリー・教育教養番組＞

※8階視聴フロアで視聴できます

番組ID	タイトル	放送局	内容
008797	世界遺産〔4〕 ンゴロンゴロ自然保護区(タンザニア)	TBS 26分 1996/5/5	8300平方キロの公園内に様々な野生動物が生息する一方で密猟の問題も抱えている。オールドバイ渓谷からは350万年前のアウストラロピテクスの骨が出土し、ここが類人猿から人類への進化の地であったことを物語る。近くに住む狩猟採集民族ハツザ族、保護区内の遊牧民マサイ族などの生活は、そうした進化の過程を想像させる。
008803	世界遺産〔10〕 フェズのメディナ(旧市街)(モロッコ)	TBS 26分 1996/6/16	9世紀初めに建設されたモロッコ最古のイスラム都市。旧市街は城壁に囲まれ、敵の侵入に備えて路地は迷路のように入り組み、今も車は入れない。ロバが荷物を運ぶ街は生活臭にあふれているが、中心部には巨大なモスクや豪邸がある。壁面を飾るタイルモザイクの抽象模様の豪華さ、美しさは驚嘆に値する。
009857	クローズアップ現代 遥かなアトランタ ～ルワンダ難民ランナーからの手紙～	NHK 30分 1996/7/17	1996年5月16日、1枚のFAXが届いた。差出人はムカムレンジ・マルシアンナ。「私のことを覚えていますか、難民キャンプでの生活はますます厳しくなっています。」彼女はアフリカを代表するランナーで、過去3回の五輪にルワンダ代表として参加した。しかし2年前の内戦で難民となってしまったのである。
009867	NHKスペシャル 密林を行く大交易船 ザイル川1700キロ	NHK 50分 1996/8/18	アフリカのザイル川を航行する交易船エベヤ号は、都市と密林の奥地をつなぐ命の船。混乱した国家経済の下、生活物資を運ぶ人々と、漁や狩りで暮らす領域の村人たちは、川に浮かぶ市場・交易船の流通に生活をかけてたくましく生きている。
008061	野生のドン 栄光と転落 アフリカ・チンパンジーの驚異の生態	関西テレビ 66分 1996/8/18	タンザニアのチンパンジーを15年間統率したボスの生涯を描く。優れた能力で80頭を率いてきたントロギダが年齢と共に衰え、若いインサバにボスの地位を奪われた。しかしインサバの統率力では群れは御しきれず権力闘争は続く。失脚したントロギダは、若いチンパンジーのリンチに遭い無残な死をとげる。
008846	世界謎紀行・神々のいたずら〔4〕 とんでもない魚たち アフリカ・マラウイ湖	TBS 47分 1996/11/10	200万年前にでき今も拡大を続けるマラウイ湖には、独特の進化を遂げた魚がいる。危険が迫ると親の口の中に逃げ込んだり、シクリッドとナマズと一緒に子育てをする。周辺の人々が湖の恵みを楽しみながら平穏に住み分けている姿も印象深い。
008825	世界遺産〔32〕 セレンゲティ国立公園(タンザニア)	TBS 26分 1996/12/1	タンザニアの12の国立公園のうち最大のもの。ヌーが多いのが特長で約130万頭が生息する。1992年から94年にかけて、付近の住民が飼う犬の病気のジステンパーがライオンに伝染。3分の1が死ぬという深刻な被害が出て、対応が今も続いている。絶滅しかけたクロサイを、密猟者から守るのも大変だ。
008827	世界遺産〔34〕 アブシンベルからフィラエまでの ヌビア遺跡群(エジプト)	TBS 26分 1996/12/15	地中海からナイル川を溯って1000km。アスワンの街の上流ヌビアに、岩窟神殿アブシンベルなどの遺跡群があった。アブシンベルを構成するラメセス2世の大神殿と、王妃のハトホル神殿を詳しく見る。ヌビアの遺跡群は1960年代、アスワンハイダムの底に沈むことになり、国際協力でフィラエに移築された。
008851	世界謎紀行・神々のいたずら〔9〕 地中海に沈んだ軍事機密 謎の海洋国家カルタゴ	TBS 47分 1996/12/15	BC9世紀、現在のチュニジアの地に建国したカルタゴは造船技術に優れた海洋国家であったが、ローマに滅ぼされた。海戦で沈んだ軍艦が引きあげられているが、二千年間海中にありながら合金の船釘はまったく錆びていない。地中海に潜り、現実に沈んでいる都市を見て、海没したアトランティスにもふれる。
008856	世界謎紀行・神々のいたずら〔14〕 アフリカの奥地に幻の黄金郷	TBS 47分 1997/2/9	サハラ砂漠南端にあるトンブクトウは、15世紀頃、女が操るウンガロスという集団が支配する金の交易都市だった。ワンガラというのがこの土地での呼び名で、密林の奥から来た豊富に金を持つ一族だった。ニジェール川を遡上しかつてのワンガラの都に辿り着くと、奇妙な風習と共に今も金を装身具とする女たちがいた。
007410	奇跡の森の巨人 アフリカ・西ローランドゴリラの記録	関西テレビ 65分 1997/2/23	アフリカ・コンゴに生息する野生ゴリラの姿を追う。4回目となる今回は、動物の楽園・オザエラ国立公園で3か月長期取材し、いまだ謎の多い西ローランドゴリラの生態を追うほか、1995年に放送したレフィニの森の孤児ゴリラたちのその後の様子を伝える。動物生態学者の三谷雅純が取材に同行した。
008858	世界謎紀行・神々のいたずら〔16〕 ピラミッドはなぜ作られたのか 聖なる鳥に秘められた謎	TBS 47分 1997/2/23	ピラミッド時代の壁画に、トキの顔を持つ神トトに王や神官がひざまづいているものがある。トトは異星人で、ピラミッドは彼らの指導で築いたという説もある。トトは死後の冥界と関わる存在で、ピラミッドは天上へ旅立つための装置というのが真実のようだ。実際、ピラミッドの斜角は太陽の昇る角度で作られている。
009714	世界遺産〔49〕 岩窟教会群、ラリベラ(エチオピア)	TBS 26分 1997/4/6	首都アジスアベバからバスで2日、ラリベラの急峻な山の中に百を超す教会群がある。神の声に導かれて造ったというこれらのほとんどが岩塊を削り抜いてできている。タボットという十字型の教会が珍しい。毎年1月、国内から大勢の信徒が参集するティムカット、キリスト洗礼祭の様子が、詳しく紹介されている。
009719	世界遺産〔54〕 メンフィスとその墓地遺跡 ギザから ダハシュールまでのピラミッド地帯Ⅰ(エジプト)	TBS 26分 1997/5/11	メンフィスは古代エジプトの首都。王はピラミッドの下に埋葬され、天に昇る階段としてピラミッドを使う。その形は世界を創造した太陽神が来た丘を表す。4500年前に作られたジェセル王の階段ピラミッドは史上最古とされる。スネフェル王の屈折ピラミッドと共に建造技術の模索がうかがえる。

放送ライブラリー公開番組＜アフリカ関連ドキュメンタリー・教育教養番組＞

※8階視聴フロアで視聴できます

番組ID	タイトル	放送局	内容
009720	世界遺産〔55〕 メンフィスとその墓地遺跡 ギザから ダハシュールまでのピラミッド地帯Ⅱ (エジプト)	TBS 26分 1997/5/18	ピラミッドはクフ王のものが最大で技術的にも完成の域を示す。200年後のウナス王からは内部壁にヒエログリフが刻まれ、800年後のアメンエムハト3世の黒ピラミッドを最後に王家の谷に埋葬されるようになる。
009726	世界遺産〔61〕 古代都市テーベとその墓地遺跡 (エジプト)	TBS 26分 1997/6/29	テーベは現在のルクソールにありナイル川西岸が墓地遺跡になっている。ハトシェプストは、夫王の死後、異腹の子がトトメス3世となったのを押しつけて王位についたため、後に復位したトトメス3世によって歴史から抹殺された。ツタンカーメン王は、全王のミイラが盗掘で消失した中で、ただ一人遺体の現存する王だ。
009728	世界遺産〔63〕 イシュケウル国立公園 (チュニジア)	TBS 26分 1997/7/13	首都チュニス北西のこの公園は渡り鳥の越冬地で、1980年代には30万羽を数えた。国土の3分の1が砂漠のチュニジアでは水の豊かな地方で、公園の中で牛や豚を放牧して生きる人々もいる。最近、渡り鳥の数が減少してきた。原因はダム建設など水系の変化。生態系が危機にあるとユネスコは警告を発している。
009230	ドキュメンタリー人間劇場 ルワンダに義足工場を！ 真美さんの夢と挑戦	テレビ東京 47分 1997/9/17	「ルワンダに義肢工場を作る。いずれは援助に頼らずルワンダ人だけで運営できるようにしたい」そんな夢を抱いて内戦の傷癒えぬルワンダに渡った吉田さん33才。OLから義肢職人に転身した。工場作りから第一号の義足作りまで、唯一の日本人として現地スタッフと試行錯誤しながら頑張る姿を伝える。
012869	世界遺産〔100〕 バンディアガラ断崖 (ドゴン人の集落) マリ	TBS 26分 1998/4/19	マリ中央部、サハラ砂漠の南端の大断層地帯バンディアガラには、地上500メートルの崖にドゴン族が住んでいる。土造りで四角い家に住み、天体の知識は驚くほど正確。祭りの仮面は西洋芸術に影響を与えピカソの『アビニョンの娘たち』を生み出した。女は崖を登って畑に水を撒き、男は神聖な仕事である機織をする。
011090	BSカルチャードキュメント 地球に好奇心 大地が裂ける 灼熱の大塩湖をゆく ～エチオピア ダナキル砂漠～	NHK衛星第2 89分 1998/4/26	エチオピア北部、灼熱のダナキル砂漠。雨季の豪雨に洗われて塩が不足するエチオピア高原の人と家畜を、このダナキルの塩が支えている。大量の海水が蒸発してできた塩をアファール族は2000年前から利用してきた。彼らは60度にもなる砂漠から3日ばかりで塩を切り出し、ラクダでエチオピア高原まで運ぶ。
016484	放送大学特別講義 HUMAN～人間・その起源を探る～ 原猿の社会～マダガスカル～伊谷純一郎、小山直樹	放送大学 44分 1998/5/1	人間のルーツを探り、進化過程での社会形成を考えるシリーズ。今回は、霊長類の中で最も原始的な原猿をマダガスカルで追跡した模様を伝える。特にワオキツネザルの群れの人口動態や、メス優位の社会システム、体の特徴について解説する。
012873	世界遺産〔104〕 ジェンネ旧市街 マリ	TBS 26分 1998/5/17	ニジェール川の内陸デルタにジェンネはある。泥造りのモスクは高さ20メートル、世界最大である。摂氏40度を超える日々、月曜の市に人が集まる。以前は金と岩塩の交換で繁盛した。細い路地の奥には生活の場がある。しかし最近、働き盛りは街を出ていき川で獲れる魚も少ない。砂漠化が迫りつつあるのだ。
901316- 901322	世界の車窓から ジンバブエ ブルートレイン(1)～(7)	テレビ朝日 各2分 1998/5/25-31	「サファリ・エクスプレス」と題して、ビクトリアフォールズを起点としたジンバブエ・ブルートレインを紹介する。
012875	世界遺産〔106〕 キリマンジャロ国立公園 タンザニア	TBS 26分 1998/5/31	ケニア・タンザニア国境に万年雪を頂いたキリマンジャロ国立公園がある。2800メートルまでの樹林地帯を抜けると、4000メートルまでは暑い日差しと乾燥に強い植物ばかりだ。4700メートルを過ぎると砂漠地帯となる。最後の難関は5000メートルを越えた急斜面。4日目には眼下に雲海が広がり、朝日が昇った。
012879	世界遺産〔110〕 キルワ・キシワニとソongo・ムナラの遺跡 タンザニア	TBS 26分 1998/6/28	ダルエスサラームは東アフリカの金を独占し貿易で発展した。12世紀半ばに栄えた小島キルワ・キシワニとソongo・ムナラにイスラム人が来てスワヒリ文化を育て、後にポルトガル人が占領し奴隷の集積地となった。キルワでは要塞を転じて牢獄とした。インド洋をアジアまで結んだ三角帆の帆船が今も航行する。
016492	放送大学特別講義 HUMAN～人間・その起源を探る～ チンパンジーの社会～タンザニア～伊谷純一郎、西田利貞	放送大学 44分 1998/7/12	タンザニアのチンパンジーを取り上げ、30年にわたる調査で分かった社会構成や人間との共通性を解説する。ここに生息するチンパンジーは個体識別されており、群れの社会には敵対関係や友好関係がある。彼らは道具を使ってオオアリの巣を釣ったり、集団で狩りを行うこともある。
012882	世界遺産〔113〕 大ジンバブエ国立遺跡 ジンバブエ	TBS 26分 1998/7/26	草原の丘上の石の建築群がジンバブエ国立遺跡だ。ショナの人々が最盛期の13世紀頃に造った。一周240メートルの楕円の敷地に、花崗岩の壁と巨大石が組み合わさる。王の宮殿が妻たちの住居と考えられている。出土した中国の磁器の破片は、大航海時代の遥か以前にアジアとの交易があったことを物語る。
012883	世界遺産〔114〕 マラケシュのメディナ (旧市街) モロッコ	TBS 26分 1998/8/2	マラケシュには幾つもの王朝が王都を築いてきた。広場は大道芸人のパフォーマンスの場だ。旧市街の中は神学校、スーク(市場)、住居地の静寂とまさに迷宮都市である。パディ宮殿は廃墟になっているが、黄金王エル・マンスールの柩が完全な形で出土した。飲食街の広場の夜は、いつ終わるとも知れない。

放送ライブラリー公開番組＜アフリカ関連ドキュメンタリー・教育教養番組＞

※8階視聴フロアで視聴できます

番組ID	タイトル	放送局	内容
010735	神々の詩 大いなる赤道 ～第2話・赤道アフリカ～ 生命、鼓動、そして大地	TBS 47分 1998/8/9	生命・鼓動・大地をテーマに、アフリカのビートが秘める生命力を追求する。タンザニアの草原にある、原人の親子が歩いた足跡はスキップをしていると言われている。太古から人はリズムを持っていた。宇宙の神と一体化しようとするドゴン族の踊りや、森への感謝を表すピグミー族の踊りを紹介する。
012884	世界遺産[115] アイト・ベン・ハドゥの集落 モロッコ	TBS 26分 1998/8/9	ベルベル人が築いたアトラス南麓のカスバ(城)を訪ねる。岩山のアイト・ベン・ハドゥのカスバは、高い塔、飾りに見せた銃眼、入りくんだ路地に守られている。オアシスのバラに囲まれたカスバや水上カスバ、白土で作られたカスバもある。アトラスの王と呼ばれたグラウィーのカスバは豪華さで王宮にも勝るといわれた。
012895	世界遺産[126] カイルアン チュニア	TBS 26分 1998/10/25	聖地カイルアンは、聖戦で西へと進んだイスラム軍が駐屯した場所。旧市街は城壁に囲まれ中心にミナレット(塔)が立つ。水が乏しかったので、巨大な貯水槽が城壁の外につくられた。霊廟で行われる割礼はイスラムの重要な儀式。我が子の試練を母親は見守り、参列者も健やかな成長を祈る。
012901	世界遺産[132] ファジル・ゲビ、ゴンダール地域 エチオピア	TBS 26分 1998/12/6	かつて王たちはテントや粗末な城で移動生活を送っていたが、17世紀にファシラダスが王宮ファジル・ゲビを建てた。18世紀には人口10万人を超え現在も土曜日が賑わう。ダブル・ベルハン・セラシェ教会は戦火をまぬがれ、聖画を描いた壁画が残る。聖職者をめざす少年は毎日往復10キロの托鉢を行う。
011195	ETV特集 不幸のない国で ～キシダママとケニアの人々～	NHK 45分 1999/1/25	ナイロビに住んで23年になる栄養研究家の岸田袈装さん。ナイロビ北西400キロのエンザロ村に入り、井戸作り、草履作り、カマド作りなどの生活改善を指導して「キシダママ」と慕われてきた。岸田さんは「ケニアは不幸のない国」だという。スワヒリ語には「不幸」という言葉そのものがないのだ。
200032	世界遺産[163] ケニア山国立公園／自然林 ケニア共和国	TBS 26分 1999/7/25	ケニア山は標高5,199メートル、アフリカ第2の高山だ。植物のセネシオ、ロベリア、動物のイワハイラックスなどが生息する。氷河もあって滑落死した人の十字架がわびしい。景色は南北で二分され、北側は荒涼とした岩山ばかり。1997年、氷河の下端でヒョウの死体が発見された。
200034	世界遺産[165] ツインギ・ド・ベマラハ厳正自然保護区 I マダガスカル共和国	TBS 26分 1999/8/8	アフリカ大陸東南端の「不思議の島」マダガスカルを、2回にわたって紹介する世界のどこにもない、巨大な剣山のような地形。驚くことに、それが1億5千万年前の珊瑚礁だという。マナンブル川の流域には、謎の人骨の埋葬地、岩絵のコブ牛まである。ホシガメや、オウチュウ(鳥類)、バオバブなども取り上げる。
200035	世界遺産[166] ツインギ・ド・ベマラハ厳正自然保護区 II マダガスカル共和国	TBS 26分 1999/8/15	石灰岩大地の植物と原猿類に注目する。幹の内部に水を溜めるもの、岩の裂け目を30メートルも根を伸ばすものなど、不思議な姿の植物が多い。霊長類の原型を今も溜める原猿類のうちペローシファカ、ワオキツネザルなど8種が撮影できた。先住民の老人は、昔はキツネザルを食べたと言うが今は保護している。
009969	アフリカに実れ！ サンコンの故郷 感動の家族旅	テレビ西日本 65分 1999/9/11	ギニア共和国はタレントのオスマン・サンコンの生まれ故郷。福岡県八女郡星野村で昔ながらの農業を営む二田さん一家にサンコンさんがホームステイしたことがきっかけで、四世代五人家族がギニアを訪れる。バガ族の珍しい祭りや成人の儀式を織り交ぜながら「家族の絆」を描く。
200062	世界遺産[193] グレーターセントルシア湿地公園 南アフリカ	TBS 26分 2000/3/12	インド洋に面したこの公園は24万ヘクタール。河口のマングローブはアフリカ大陸南限のもので、野鳥521種、絶滅の恐れがある動物48種の命をこの地の豊かさが支えている。クロコダイルセンターでは卵を人口孵化している。ズールー族はニヤマ(萱のような草)を刈り敷物などを作る。
901344- 901350	世界の車窓から エジプト カイロ～エル・ミニア(1)～(7)	テレビ朝日 各2分 2000/3/13-19	今回は「Ville du Arabesque」と題して、エジプトのカイロ～エル・ミニアの道のりを紹介する。
200065	世界遺産[196] ロベン島 南アフリカ共和国	TBS 26分 2000/4/2	監獄の島と言われたロベン島。17世紀、オランダはこの島を植民地政策に抵抗する黒人指導者の流刑地と定めた。その後南ア連邦も人種差別政策をとり、刑務所やハンセン病患者の隔離施設を建設した。黒人初の南ア大統領となったネルソン・マンデラは、27年の投獄生活のうち18年をこの島の独房で起居した。
016497	放送大学特別講義 エジプトを掘る～ 第14回「大学と科学」公開シンポジウムより～〔1〕 吉村作治ほか	放送大学 89分 2000/5/4	早稲田大学の吉村作治教授をメインパネラーとして、研究発表と討論を2回にわたって紹介する。今回は吉村教授の基調講演「エジプトにおける発掘調査の歴史」、早稲田大学の近藤二郎助教授の発表「新王国時代の遺跡と環境」とともに、パネルディスカッション「エジプトを掘る」の模様を伝える。
016498	放送大学特別講義 エジプトを掘る～ 第14回「大学と科学」公開シンポジウムより～〔2〕 吉村作治ほか	放送大学 89分 2000/5/5	東海大学情報技術センターの坂田俊文所長の発表「宇宙から見た遺跡」、早稲田大学の高宮いづみ講師の発表「図像をどう見るか」とともに、パネルディスカッション「周辺から見たエジプト文明」の模様を伝える。



放送ライブラリー公開番組＜アフリカ関連ドキュメンタリー・教育教養番組＞

※8階視聴フロアで視聴できます

番組ID	タイトル	放送局	内容
016499	放送大学特別講義 HUMAN～人間・その起源を探る～ 人類発祥の地アフリカ 伊谷純一郎	放送大学 44分 2000/5/14	人の化石と生活環境の研究が進んでいる古生態学について解説する。日本の霊長類学は、ニホンザルからアフリカの霊長類に研究フィールドを広げるとともに、化石人骨の調査や狩猟・採集民、牧畜農耕民社会の研究にも取り組んできた。
200072	世界遺産〔203〕 アシャンティの伝統建築群 ガーナ共和国	TBS 26分 2000/5/21	クマシは黄金や奴隷貿易で繁栄したアシャンティ王国の首都だった。ヤシの葉で屋根を葺き壁を粘土で固めた伝統的建築物は、植民地時代に破壊され尽くしたが、王国の伝統は残り王室も存続している。クマシ周辺には伝統建築の祭司の館が残っている。今も呪術師が祈りの行事を行い、土着信仰と文化が息づく。
016500	放送大学特別講義 HUMAN～人間・その起源を探る～ ゴリラの社会～ルワンダ～ 山極寿一	放送大学 44分 2000/5/21	ルワンダのマウンテンゴリラの社会を取り上げる。ゴリラの社会は一夫多妻型である。この単雄の群れ社会は、家族の起源を想起させる。1978年以来の長期にわたる継続観察の成果をもとに、群れの構成原理を探究し、社会集団化の芽生えを考える。
200074	世界遺産〔205〕 シミエン国立公園 エチオピア	TBS 26分 2000/6/5	標高4000メートルを超えるこの公園は、断崖絶壁の地形、寒暖差の激しい気候が孤立した生態系を形成し、珍しい姿の動植物が多い。ライオンのようなたて髪をもつゲラダヒヒ、高さ8メートルにも及ぶジャイアント・ロベリアなどである。しかし今、人口増加による環境保全の危機に立たされている。
007876	NBS月曜スペシャル 愛はポレポレ ～日本ータンザニア、痛快！！花嫁さん～	長野放送 48分 2000/6/19	タンザニアから嫁いできた女性が、持ち前の陽気さと夫の支えで明るく過ごす日々を通し、家族の在り様や異文化コミュニケーションを描く。1996年に長野県のりんご農家に嫁いだ彼女にとって1999年は忙しい一年になった。久しぶりに故郷タンザニアへ里帰りし、また母と姉が来日したのだ。
013212	NHKスペシャル 四大文明〔1〕 エジプト そしてピラミッドがつけられた	NHK 59分 2000/7/9	紀元前3000年頃、ナイル川のほとりに花開いたエジプト文明。ファラオを頂点とした古代国家の栄華は、今も残る壮麗な建築物に垣間見ることができる。ピラミッドは、ファラオが権力を誇示するために作らせたという説が有力だったが、近年その説を覆す新たな事実が次々と発見されている。
200083	世界遺産〔214〕 モシ・オア・トウニャ／ヴィクトリアの滝 ザンビア／ジンバブエ	TBS 26分 2000/8/13	ヴィクトリアの滝の現地名はモシ・オア・トウニャ（轟音をとどろかせる水煙）という。落差100メートル、幅1,800メートルの巨大な滝である。1億8千万年前の火山活動で生まれた滝は、これまで何度も下流から上流へと移動してきた。滝から舞い上がる飛沫は周辺の森林を潤し、野生動物の聖域となっている。
013237	NHKスペシャル 援助コンボイが走る ～飢餓と内戦のスーダン～	NHK 49分 2000/9/24	150万人が生命の危機にさらされているスーダンで援助食糧輸送隊（コンボイ）に同行。爆撃、地雷、悪路などの危険な行程を追い活動の実態に迫る。スーダンは1956年に独立したが、内戦や旱魃で食糧不足となった。国連「世界食糧計画」が中心となり数十台のトラックがコンボイを組んで食糧を届けている。
010478	世界ウルルン滞在記 アフリカ・大自然のグルメに…遠野凧子が出会った	毎日放送 48分 2000/11/26	遠野凧子がザンビアを訪ね、昆虫や小動物など大自然のグルメを堪能する。ベンバ族はネズミやモグラ、さらにアリ、セミなどの昆虫が大好物。遠野はモアベさん一家と暮らしネズミやコオロギを次々食べる。モアベさんは「チプミ」と呼ばれるものを食べさせようとするが、遠野はチプミを前に号泣してしまう。
200102	世界遺産〔233〕 スタークフォンテン、スワートクランズ、クロムドライ および周辺の人類化石地区 南アフリカ	TBS 26分 2000/12/24	南アの渓谷から大量に出土した化石が、人類のアフリカ起源説を決定づけた。それは明らかに直立二足歩行で、サルでもヒトでもなく、猿と呼ばれるべきものの化石だったのだ。数百万年前のアフリカの大地を生きた猿人たちが、現在は、人類の祖先と考えられている。
200107	世界遺産〔238〕 アボメイの王宮 ベナン共和国	TBS 26分 2001/2/4	アボメイ王宮の遺構には奴隷貿易の歴史が秘められている。大航海時代、ベナン沿岸部は奴隷海岸と呼ばれ、ここからアメリカに渡った黒人は2000万人にも及ぶ。ダホメー王国は、武力で周辺の民族を捕え強大化した。アフリカ人の王が奴隷貿易に手を貸したのだ。奴隷商人の館などが歴史の一端を伝えている。
200108	世界遺産〔239〕 アブシンベルからフィラエまでのヌビア遺跡群 II エジプト	TBS 26分 2001/2/11	アブシンベル神殿は3300年前の王国の栄光を伝える。河口から1500キロ上流のアスワン地方を治めた歴代のファラオは、王の力を近隣諸国に誇示すべく次々と壮麗な神殿を築いた。ラメセス2世のアブシンベル神殿は、イシス神殿などと共に古代エジプト文明の頂点を飾る巨大神殿だ。
200110	世界遺産〔241〕 マナ・プールズ国立公園、サピとチュウォールの サファリ地区 ジンバブエ	TBS 26分 2001/2/25	乾季のマナ・プールズ国立公園は動物たちのオアシスである。ザンベジ川中流に位置する氾濫原は、植物が枯渇状態となってしまう乾期のサバンナで唯一の避難場所となる。マナ・プールズとは現地語で4つの水たまりという意味。ゾウやキリンなどあらゆるサバンナの動物が群れをなして集まってくる。
200114	世界遺産〔245〕 トンブクトゥ マリ共和国	TBS 26分 2001/3/25	アフリカ第一の交易と学術の中心都市だったトンブクトゥ。サハラ岩塩と南で採れる金の「塩金交易」を軸に様々な品物が取引されヨーロッパや中東の人々の憧れを引き寄せた。中東各地から学生を集めイスラム教の布教と大学都市としても栄えたが、現在の町は砂漠拡大により存立の危機に立たされている。

放送ライブラリー公開番組＜アフリカ関連ドキュメンタリー・教育教養番組＞

※8階視聴フロアで視聴できます

番組ID	タイトル	放送局	内容
011484	FNSドキュメンタリー大賞ノミネート作品 日本人が忘れたもの ～ガーナからきた米百俵の心～	新潟総合テレビ 48分 2001/8/25	ガーナ人のアウニさんは「米百俵」の故事に惹かれ長岡に来た。故郷プアルグ村の学校がハリケーンで崩壊したと聞いた人々が再建運動を始めたが、集めた文房具の高額な送料に悩む。しかし現地を訪ねるとその文房具が使われており、村人による学校再建も始まった。教育こそ貧困の克服に必要なのだ。
014196	NHKスペシャル アフリカ21世紀〔1〕 迷走・ソマリア ～内戦地帯をゆく～	NHK 50分 2002/1/27	冷戦構造が崩壊し国連の権限が低下する中、アフリカでは内戦や飢餓が恒常化している。ソマリアでは1960年の独立以来、政権争奪が繰り返されてきた。1991年に内戦状態が広がり、国連の「人道的介入」により武力的解決が図られたが失敗。内戦は泥沼化し、主要都市が廃墟と化すに至っている。
014197	NHKスペシャル アフリカ21世紀〔3〕 隔離された人々 引き裂かれた大地 ～南ア・ジンバブエ～	NHK 50分 2002/2/10	悪名高いアパルトヘイトが廃止されて10年たつ南アだが、経済的再分配は進まずに貧富の格差が増大している。同じ問題に苦しむジンバブエでも、黒人による白人農場への襲撃が激しさを増している。
011885	サンデープレゼント 女性性器切除と捨て子の多い国 黒柳徹子のソマリア報告	テレビ朝日 70分 2002/9/22	ソマリアは1991年の中央政権崩壊以来無政府状態が続き、90万人が難民となった。孤児院ではイスラムゆえの捨て子が多い理由を聞く。大きな問題が女性性器切除(FGM)でソマリア女性の98%が切除を受けている。不衛生な手術のため感染症の元となる。ユニセフの働きでようやくFGM廃止の活動が始まった。
011891	日曜ワイド 風よ伝えて…ルワンダの碧い空	テレビ朝日 70分 2002/10/13	1994年の内戦から8年、治安は安定したが日本ではまだ馴染みが薄いルワンダ。ゴリラなど野生動物が生息し、コーヒー、紅茶、蜂蜜の生産も盛んだ。バナナの葉で手作りするカードは女性の自立の一助となっている。ここで義足を製作する吉田真美さんは、義足装具士を育成し障害者の社会復帰を支援している。
011922	驚異のアフリカ類人猿紀行 —進化の隣人と生きる—	関西テレビ 65分 2003/2/23	チンパンジーとボノボからヒトの進化を考える。コンゴ川流域のボノボは生殖器を使った独特のコミュニケーション方法を持ち、温和で争いを好まない。一方ジャングルで暮らすチンパンジーは、高い知性の一方凶暴で残酷な一面も見せる。そのチンパンジーが森を出たことがヒトの進化の鍵となったと考えられている。
014529	灼熱大陸の青年たち ～セネガルの空の下で～ ／MRT開局50周年記念特別番組	宮崎放送 47分 2004/1/2	青年海外協力隊員としてアフリカのセネガルで活動している3人の若者を通して、現地の状況や海外協力隊の活躍を紹介する。レポーターは、アフリカ・ナミビアでの取材経験を持つ宮崎在住の写真家・芥川仁氏。
013365	テレビ寺子屋地球スペシャル アフリカ最後の奇跡！ 野生動物の楽園に命の営みを見た	テレビ静岡 65分 2004/3/6	カラハリの宝石と呼ばれる湿原、オカバンゴ・デルタを訪ねる。灼熱の砂漠の中の恵みの水を求めて、動物たちが集まる野生の楽園。内陸にある湿地デルタ地帯という、アフリカのみならず世界的にも珍しい環境の実態と大自然の不思議を探る。
015172	ドキュメンタリー ボノボ最後の楽園 —森に帰った隣人—	関西テレビ 46分 2005/4/1	人間と98パーセント以上同じDNAを持つボノボ。生息域が内戦に陥り、長く中断されていた現地調査を10年ぶりに再開した研究者に同行取材する。200万年前にコンゴ川でチンパンジーと隔離されたボノボは、闘争ではなく宥和を重んじる。現地には「ボノボは人の祖先」という民話があり、狩られることがなかった。
205196	ハイビジョン特集 ライオン 空前の王交代劇	NHK 90分 2007/3/21	セレンゲティ国立公園でライオンの王の死による交代劇が撮影された。ライオンの群れは血縁関係を持つメスとその子から成り、数頭のオスが王として君臨する。新王は前王の子を殺すため、子連れのメスは群れを離れた。一方若いメスは新王の候補として臭いや鳴き声でオスを呼び、より強いオスを選ぼうとする。
201512	FNSソフト工場 なんだろう？ジャンベだろう♪ 音楽と笑いは世界をつなぐ	鹿児島テレビ 48分 2007/10/27	テツandトモの2人がアフリカン・パーカッションに挑む。アフリカの太鼓“ジャンベ”の巨匠ママディ・ケイタが硫黄島で開くジャンベ・スクールには世界中から生徒が集まる。テツトモは悪戦苦闘しながらジャンベに挑み、発表会に参加することに。2人はジャンベのリズムに込められた奥深いメッセージを知らされる。
200160	育て！ウガンダ野球 ～少年たちを変えた札幌の元教師～	テレビ北海道 24分 2008/1/13	首都カンパラから東80kmの町ジンジャ。ここの高校には23人が所属する野球部がある。彼らを指導するのが、JICAの野球隊員として派遣されている小田島さん。元々札幌で教師をしていたが“人づくり”をしたいとアフリカに渡った小田島さんの奮闘と、2年で目覚ましい成長を遂げた部員の姿を伝える。
200892	ザ・ノンフィクション 女二人 灼熱大陸を駆ける	フジテレビ 50分 2008/2/3	内戦が長年続いたスーダン。地雷や不発弾の犠牲になる人が絶えず、大勢の人々が飢餓にあえぐこの国で、世界最大の食糧配給機関であるWFP(国連世界食糧計画)や、NGO・難民を助ける会(AAR JAPAN)で井戸掘りを中心に活動している日本人女性を通して、国際支援の最前線とその現実を伝える。
203383	感動地球スペシャル 宮崎あおい、心にしみるアフリカ ～生命輝く大地・ルワンダ～	テレビ静岡 64分 2009/3/1	宮崎あおいがルワンダを旅する。別名を「千の丘の国」というルワンダは長野県の2倍ほどの小さな国。しかし巨大なキブ湖、サバンナ地帯、山岳地帯と様々な表情を持つ。マウンテンゴリラは、世界でもここにしかいない貴重種。生息数700頭と絶滅が危惧されているが、ゴリラトレッキングで間近に見ることができる。

放送ライブラリー公開番組＜アフリカ関連ドキュメンタリー・教育教養番組＞

※8階視聴フロアで視聴できます

番組ID	タイトル	放送局	内容
203345	ガーナへの道 アフリカで暮らす山梨県人たち ／開局55周年記念特別番組	山梨放送 50分 2009/3/28	山梨県人の青年海外協力隊員の活動を追う。ガーナは首都アクラを中心に発展を続ける一方、北部はインフラ整備が遅れ経済格差も問題となっている。元自衛隊員、元バンドマンから理数科教師へ転身した男女、マラリア撲滅に走り回る調整員など、ガーナの人々の笑顔のために活動を続けている。
<ラジオ番組>			
番組ID	タイトル	放送局	内容
R00220	ラジオポエトリィ ジャンボ・アフリカ	文化放送 43分 1971/10/3	ウガンダ、ケニア、タンザニアなどの大自然と、それに包まれて生きる人々の暮らしをアフリカへの憧れを込めて描く。
R01966	地球音楽家族2000 Pole Pole Africa ママトゥのアフリカ音楽紀行	関西インターメディア 58分 2000/10/3	南アフリカやタンザニアの音楽を特集するシリーズ。今回は「サウスアフリカ・ジャジーナイト」をテーマに、南アで人気のジャズ・ミュージシャンを紹介する。現地収録のセッションやインタビューを交え、黒人音楽家たちの世界観を浮かび上がらせる。「本当のアフリカ講座」のコーナーでは黒人居住区の現状をレポートする。
R20201	ターレル ターレル ～アフリカ大地に伝わる昔話～	大阪放送 60分 2010/5/16	文化人類学者江ロー久氏が40数年にわたり調査した、カメルーンのフルベ族に伝わる昔話を伝統的打楽器ジェンベと共に届ける。紹介される昔話は、「目と手と足」「ハイエナと菓子の木」「ハンマンと精霊たち」「バター娘」。天理大学の平野美佐さんが、カメルーンやフルベ族についても解説する。